

日本福祉心理学会第24回大会（第1号通信）  
つなぐ実践としての福祉心理学  
～当事者・制度・専門を結び、生活を支える～

ご挨拶

現代社会は、国際情勢の不安定化や紛争、経済格差の拡大など、先行きの見通しが困難な状況にあります。こうした世界的な変動は、人々の生活基盤や心理的安定にも大きな影響を及ぼしており、私たちは複雑で不確実な時代に生きています。また、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン（DEI）をめぐる価値観も国際的に揺らぎを見せており、共生社会の実現に向けた理念や実践のあり方が改めて問われています。このような状況の中で、一人ひとりの well-being を実現していくためには、社会に存在する多様な資源を活用し生活を支えるという社会福祉学の視点と、個人の心理的状态や経験に寄り添った支援を行う心理学の視点の双方からアプローチする福祉心理学の役割が、これまで以上に重要となっています。

2006年に採択された国連の障害者権利条約は、障害を個人の属性としてではなく、社会との相互作用の中で生じるものとして捉え、権利保障と社会参加の実現を強く求めました。また、日本においても障害者差別解消法の改正により、合理的配慮の提供が義務化されるなど、制度的整備は大きく前進しています。これらは、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」という理念とも軌を一にするものです。

しかしながら、制度の整備が進む一方で、それが当事者の生活の中でどのように実感され、具体的な支援として機能しているのかという点には、なお多くの課題が残されています。制度、専門職、地域社会、そして当事者の経験が必ずしも十分に結びついていない現状は、私たちが取り組むべき重要な課題です。

福祉心理学は、こうした分断を乗り越え、人と人との関係性や生活の文脈に根ざした実践を通して、当事者・制度・専門を結び直す役割を担う学問領域です。支援を一方向的に提供するのではなく、多様な主体が対話を重ねながら関係性を構築し、生活を支える実践を共に創り上げていくことが求められています。

本大会では、「つなぐ実践としての福祉心理学～当事者・制度・専門を結び、生活を支える～」をテーマに掲げました。本テーマには、分断されがちな諸要素をつなぎ直し、当事者の生活に根ざした支援のあり方を再考したいという願いが込められています。本大会が、福祉心理学の理論と実践のさらなる発展に寄与するとともに、多様な立場の参加者が相互に学び合い、新たな連携と実践の創出につながる場となることを心より期待しております。

2026年4月

日本福祉心理学会第24回大会実行委員会  
委員長 中野泰志

## I. 大会の概要

1. 会期 2026年8月8日(土)～9日(日)
2. 会場：慶應義塾大学日吉キャンパス・来往舎  
(神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1)
3. 主催：日本福祉心理学会
4. 後援：慶應義塾協生環境推進室、慶應義塾大学教養研究センター (ReCLA)
5. 大会長：中野 泰志 (慶應義塾大学)
6. プログラム概要 (予定)

### 第1日目 (8月8日 [土])

- 9時00分～ 受付開始
- 9時30分～10時00分 各種委員会
- 10時00分～11時00分 理事会
- 11時00分～11時10分 休憩・移動
- 11時10分～12時00分 総会
- 12時00分～13時00分 昼食・休憩
- 13時00分～13時15分 開会式
- 13時15分～14時15分 記念講演 (一般公開)
- 14時15分～14時25分 休憩
- 14時25分～15時55分 シンポジウム①
  - ・実行委員会企画シンポジウム① 障害学生支援 (一般公開)
  - ・自主シンポジウム① (公募)
- 15時55分～16時10分 休憩・移動
- 16時10分～17時40分 シンポジウム②
  - ・実行委員会企画シンポジウム ②リンクワーク (一般公開)
  - ・自主シンポジウム② (公募)
- 17時40分～18時00分 休憩・移動
- 18時00分～20時00分 情報交換会

### 第2日目 (8月9日 [日])

- 9時15分～ 受付開始
- 9時30分～10時30分 研究発表1：ポスター (公募)
- 10時30分～12時00分 ①福祉心理士会・研修会、②オプション企画
  - ① 福祉心理士会・研修会 (福祉心理士会でない方も聴講可能です)
  - ② オプション企画 (福祉心理士でない参加者のためのプログラムを計画中)
- 12時00分～13時00分 昼食・休憩 (福祉心理士会全国大会)
  - ・福祉心理士会全国大会は、会場で昼食をとりながらおこないます。ご参加の方は各自昼食をご用意ください。

- 1 3時00分～1 4時30分 学会企画シンポジウム
- 1 4時30分～1 4時40分 移動・休憩
- 1 4時40分～1 5時55分 研究発表2：口頭（公募）
- 1 5時55分～1 6時00分 閉会式

## II. 大会の内容（予定）

1. 記念講演：「精神障害当事者の視点から専門職の支援を問い直す」（1日目）  
演者（敬称略）：山田 悠平（一般社団法人精神障害当事者会ポルケ）
2. 実行委員会企画シンポジウム1（1日目）  
【テーマ】障害学生・教職員支援における福祉心理学の役割（仮）  
【登壇者】（敬称略）  
話題提供者1：近藤 武夫（東京大学先端科学技術研究センター）  
話題提供者2：青木 千帆子（筑波技術大学）  
話題提供者3：柏倉 秀克（桜花学園大学）  
指定討論者：飯野 由里子（東京大学）  
企画・司会：中野 泰志（慶應義塾大学）
3. 実行委員会企画シンポジウム2（1日目）  
【テーマ】当事者・制度・専門職を結び、生活を支えるためのリンクワーク（仮）  
【登壇者】（敬称略）  
話題提供者1：吉泉 豊晴（日本視覚障害者団体連合）  
話題提供者2：榊村 雅文（京都悠仁福祉会 京都認知症総合センター）  
話題提供者3：堀田 聡子（慶應義塾大学大学院）  
指定討論者：宮内 久絵（筑波大学）  
企画・司会：中野 泰志（慶應義塾大学）
4. 学会企画シンポジウム（2日目）  
【テーマ】社会的養護における子どもの声をつなぐ—子どもの最善の利益を実現する生活と支援の創出に向けて—（仮）  
【登壇者】調整中
5. 福祉心理士会・研修会 <企画>（2日目）
6. 自主シンポジウム <公募>（1日目）
7. 研究発表（ポスター・口頭） <公募>
8. オプション企画 <企画>（2日目）

## III. 大会参加申込

1. 参加申込手続き  
大会に参加される方は、研究発表を行わない場合にも必ず事前に参加申込を行っ

てください。参加申込期限は 7月8日（水）18時 です。

## 2. 参加申込方法

以下の「2026年度 日本福祉心理学会第24回大会 参加申込用フォーム」（Google フォーム）よりお申し込みください（大会・準備会のHPにもリンクがあります）。  
なお、ホームページからの申込が困難な場合には、第24回大会事務局にメール（janphs2026-group@keio.jp）でお問い合わせください。

- ・ Googleフォーム (<https://forms.gle/KdJrUpuHLNeqaa9K7>)



- ・ 第24回大会事務局のメールアドレス（janphs2026-group@keio.jp）



## 3. 大会参加費

参加費は 4,000 円（学生会員 2,000 円、非会員 4,500 円）、払込期限は 7 月 15 日（水）です。期限内に払込をお願いいたします。なお、論文集は、大会参加申し込みをされた皆様に 1 部提供いたします。

## 4. 大会参加費の納付

以下の「ゆうちょ銀行振替口座」へ、7月15日（水）18時 までに振込を行って下さい。

### 【振込先】

口座番号： 記号 00130 番号 0444284

加入者名： 日本福祉心理学会

## IV. 研究発表申込

### 1. 発表資格

発表者の要件は次の通りです。

- (1) 参加申込時点で本学会の会員であること。会員でない方は速やかに当学会への入会を済ませ、会員資格を取得して下さい。
- (2) 2026年度の会費を7月31日（金）までに納入していること。

### 2. 研究発表

今大会の研究発表の形式にはポスター発表と口頭発表があります。いずれの場合にも、論文集への抄録もご提出ください。なお、ポスターのサイズや口頭発表の時

間等の詳細は、後日、ホームページでお知らせします。

### 3. 発表申込

- (1) 発表申込期限は 6月19日(金) 18時 です。
  - (2) 研究発表申込は、「2026年度 日本福祉心理学会第24回大会 参加申込用フォーム」(Googleフォーム) から行ってください(大会・準備会のHPにもリンクがあります)。なお、ホームページからの申込が困難な場合には、第24回大会事務局にメール(janphs2026-group@keio.jp)でお問い合わせください。
- ・Googleフォーム (<https://forms.gle/KdJrUpuHLNeqaa9K7>)



- ・第24回大会事務局のメールアドレス (janphs2026-group@keio.jp)



### 4. 抄録原稿の作成

- (1) 抄録原稿は、ポスター発表・口頭発表のいずれも、筆頭発表者よりご提出ください。
- (2) 学会ホームページより抄録原稿の書式(Wordファイル)をダウンロードしてご利用ください。詳細な作成要領は書式内に記載しております。
- (3) 書式は変更せず、要領を厳守の上、原稿を作成いただきますようお願いいたします。

### 5. 抄録原稿の提出

- (1) 抄録原稿の提出期限は、7月3日(金) 18時 です。
- (2) 抄録原稿は、PDFファイル形式にした上で、第24回大会事務局のアドレス(janphs2026-group@keio.jp)にメール添付にてご提出ください。なお、抄録原稿のファイル名は【第24回福祉心理学会\_抄録\_〇〇〇〇(筆頭発表者氏名)】としてください。



- (3) 抄録原稿の受付を確認いたしましたら、事務局より受付完了の旨を返信いたします。もし、数日経過しても返信がない場合には、お問い合わせください。

## V. 自主シンポジウム企画申込

2件の自主シンポジウムを公募いたします。皆様からのご応募をお待ちしております。なお、企画にあたっての留意事項は下記のとおりです。なお、希望者が多数の場合には、実行委員会にて採否を決定させていただきます。企画の採否は、6月24日（水）までに、企画代表者にメールでお知らせいたします。

### 1. 資格

企画者は、会員とします。会員でない方は速やかに当学会への入会を済ませ、会員資格を取得して下さい

### 2. 形式

- (1) 発表時間は90分です。時間中の運営は企画者に一任されます。
- (2) 自主シンポジウムは対面での口頭発表を原則とします。

### 3. 申込手続き

- (1) 発表申込期限は 6月19日（金）18時 です。
- (2) 企画代表者は、以下の「2026年度 日本福祉心理学会第24回大会 参加申込用フォーム」（Googleフォーム）から申込をしてください（大会・準備会のHPにもリンクがあります）。なお、ホームページからの申込が困難な場合には、第24回大会事務局にメール（janphs2026-group@keio.jp）でお問い合わせください。

・ Googleフォーム (<https://forms.gle/KdJrUpuHLNeqaa9K7>)



・ 第24回大会事務局のメールアドレス（janphs2026-group@keio.jp）



### 4. 抄録原稿の作成・提出

- (1) 抄録原稿作成要領：1件につき、4ページ以内の抄録原稿を作成してください。学会のホームページより書式（Word ファイル）をダウンロードしてご利用ください。詳細な作成要領は書式内に記載しております。
- (2) 抄録原稿提出：作成された原稿は、筆頭企画者より PDF ファイル形式で、第24回大会事務局のアドレス（janphs2026-group@keio.jp）にメール添付にてご提出ください。抄録原稿提出期限は 7月3日（金）18時 です。なお、抄録原稿のファイル名は【第24回福祉心理学会\_シンポ\_〇〇〇〇（企画者氏名）】としてください。



## VI. 情報交換会

参加者間の情報交換と懇親のための情報交換会を以下の通り実施いたします。参加を希望される方は、7月8日（水）18時までにお申し込みください。

日時：2026年8月8日（土） 18時～20時（第1日目のプログラム終了後）

会場：ファカルティラウンジ（食堂）（学会会場と同じ建物内）

会費（予約制）：正会員 ・非会員 6,000 円／学生会員 5,500 円

## VII. 日本福祉心理学会 若手会員学会発表奨励金

日本福祉心理学会では、若手会員の皆さまの研究活動を支援するため「日本福祉心理学会 若手会員学会発表奨励金」の制度を設けています。本大会における研究発表を対象として、奨励金の対象者を募集いたします。詳細は、学会ホームページをご確認ください。

## VIII. 今後の主な予定

- ・ 6月19日（金）18時 研究発表・自主シンポジウム企画申込期限
- ・ 6月24日（水） 自主シンポジウム企画採否の連絡
- ・ 7月 3日（金）18時 抄録原稿の提出期限
- ・ 7月初旬 プログラム発表
- ・ 7月 8日（水）18時 大会・情報交換会申込期限
- ・ 7月下旬 論文集送付

## IX. その他

### 1. 第24回大会に関する問い合わせ先

ご不明な点などがありましたら、メール（[janphs2026-group@keio.jp](mailto:janphs2026-group@keio.jp)）でお問い合わせください。

### 2. 日本福祉心理学会第24回大会実行委員会ホームページ

各種情報は、ホームページ（<https://psylab.hc.keio.ac.jp/academy/JANPHS/>）に掲載いたしますので、ご参照ください。

